

産業構造審議会 産業技術環境分科会 廃棄物・リサイクル小委員会 自動車リサイクルワーキンググループ 中央環境審議会 廃棄物・リサイクル部会 自動車リサイクル専門委員会

## 第 47 回合同会議

### 議事要旨

日時：令和元年 9 月 10 日（火曜日）13 時 30 分～16 時 40 分

場所：大手町サンスカイルーム

### 出席者

永田座長（中環審）、村上座長（産構審）、（以下五十音順）赤穂委員、荒居委員、大塚委員、鬼沢委員、久米委員、木場委員、小林委員、酒井（伸）委員、酒井（康）委員、佐藤委員、嶋村委員、徳永委員、根村委員、乗田委員、細田委員、松八重委員、武藤委員、森谷委員、吉田委員

### 議題

1. 自動車リサイクル制度をめぐる各種取組状況等について
2. 自主取組の進捗状況について
3. その他

### 議事概要

#### 議題 1. 自動車リサイクル制度をめぐる各種取組状況等について

事務局より資料 3-1 及び資料 4、各関係団体等から資料 3-2、資料 3-3 及び資料 5 を御説明いただいたのち、自由討議が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・中国の輸入規制の問題で、シュレッダーダストの運賃の面で破砕業者は苦勞している。
- ・大規模災害の際のエアバッグ処理について、東日本大震災の時のように重機を使って外してよいという判断を柔軟かつ迅速にいただきたい。
- ・リサイクル料金の割引以外のインセンティブ制度も考えられるのではないかと。
- ・マテリアルリサイクルも重要だが、ケミカルリサイクルやサーマルリサイクルも含めて取り組んでいただきたい。
- ・自動車製造業者等と解体業者との相互コミュニケーションにおいて事例集を作成する提案があったことについて、メーカーの環境配慮設計をさらに後押しする取り組みになるものと思われることから、是非進めていただきたい。
- ・プラスチック資源循環戦略も出たところであり、プラスチックの再生利用の理解を深めるべく、広報をしっかりと行ってほしい。

- ・リサイクル料金の余剰金については、ユーザーからいただいたものであるため、厳しい目で用途を考えてほしい。

## 議題 2. 自主取組の進捗状況について

各業界団体より資料 6-1 から資料 6-8 を御説明いただいたのち、自由討議が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・バッテリーのリユースは重要であるため、リサイクルの話だけでなく、出ものを減らすための製造設計などに対するインセンティブについても議論していただきたい。
- ・タイヤの不法投棄に対する原状回復制度については、自治体が使いやすい制度を検討していただきたい。
- ・自工会には、CFRP対策のみならず、プラスチックリサイクル全体についてより積極的に取り組んでいただきたい。
- ・発炎筒に関する取組における相対的な状況について示していただき、この場でもどう対応していくか考えていった方がよいのではないか。

## 議題 3. その他

事務局より、法施行 15 年の評価・検討についての具体的なスケジュールについては、今後御案内する旨を御報告。

また、事務方より、永田座長が今回をもって座長・委員から辞される旨を御報告するとともに、永田座長より御挨拶をいただいた。

## お問合せ先

経済産業省 製造産業局 自動車課（リサイクル担当）

電話：03-3501-1637

FAX：03-3501-6691

環境省 環境再生・資源循環局 総務課リサイクル推進室

電話：03-5501-3153

FAX：03-3593-8262